

特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

2020年度 事業報告

2020年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から事業の実施方法や会議のあり方をオンラインで対応するとともに、会員館に実施した「新型コロナウイルスの感染拡大による影響と対応について」のアンケート調査をもとに、すべての事業においてコロナ禍の課題整理や対応策等の検討をプログラムに加え実施しました。また年間を通して①社会的危機状況下における男女共同参画センターの役割の検討、②第5次男女共同参画基本計画が男女共同参画の推進に資するものとなるよう国に働きかけを行いました。

(1) 社会的危機状況下における男女共同参画センター等の役割検討

ウィズコロナ時代の男女共同参画センターのあり方、協議会の存在意義、コロナを含む災害対応などの危機への考え方およびその対応をまとめることを目的に「危機管理プロジェクト」を発足し4回の会議を開催しました。

- 第1回 7月13日(月) 10:00～ オンライン開催
- 第2回 8月11日(火) 14:00～ オンライン開催
- 第3回 9月18日(金) 13:30～ オンライン開催
- 第4回 12月13日(日) 10:00～ オンライン開催

<危機管理プロジェクトにおける主な議論>

コロナ禍で浮き彫りになった課題として、男女共同参画センター利用の制限や部分閉鎖、予算の削減、事業のオンライン化が困難であるため中止が相次いだこと、逆に事業のオンライン化に伴い「場」(センター)があることの意義が問われるという点、頻発する自然災害への対応等があげられました。さらに多くのセンターが1990～2000年代に設立され建物の老朽化や補修の時期に到来しているという点、またセンターの統廃合などで数が減少しており、男女共同参画センターは転換期にあるといえます。

この状況下で中間支援組織として協議会が果たす役割として、コロナ禍だからこそオンラインで全国の会員館とつながり、顔の見える関係を継続して構築しながら、研修等を通じて各センターの課題解決につながる支援を行うことが重要と考えます。

さらに全国のセンターには交流する「場」と専門性のある「人材」がいるため、全国のセンターをつなぐネットワーク組織である協議会は、いかなる災害が、どこで起こっても迅速な情報収集と男女共同参画の視点に立った支援を届けることが可能であり、男女共同参画の視点に立った防災、減災、復興を支援することが協議会および男女共同参画センターの存在意義につながると考えられます。

(2) 第5次男女共同参画基本計画に向けて

第5次男女共同参画基本計画改定の進捗状況等を会員向けのメーリングリストで発信するとともに、第5次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方(素案)に関するパブリックコメントとして、協議会の意見を提出しました。

第5次男女共同参画基本計画、第8分野「防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進」には「災害時に効果的な役割を果たすことができるよう、全国女性会館協議会が運営する相互支援システム等を活用し、男女共同参画センター間の相互支援(オンラインによる遠隔地から

の助言等を含む。)を促す」、推進体制の整備・強化の具体的な取組として「男女共同参画センターが、男女共同参画の視点から地域の課題解決を行う拠点・場として、関係機関・団体と協働しつつ、その機能を十分に発揮できるよう、全国女性会館協議会とも連携しながら、ノウハウや好事例の共有、地域を超えた交流や連携の促進などを行う」と記述されています。

「あるってだいじ」である男女共同参画センターのさらなる機能強化を図ると同時に、災害時に備えるためにも、会員館を中心として平時から全国の男女共同参画センターのより広範なネットワークの構築と、人材育成を含めたセンターの対応力向上を図っていくことが重要です。

1. 研修事業

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、研修内容・方法を検討した結果、下記のように事業を開催しました。

(1) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」シンポジウムの開催

実施日：2020年9月10日(木)

実施方法：オンライン開催

後援：内閣府男女共同参画局

参加人数：102人

(2) 男女共同参画事業に携わる方のための基礎・実践研修

男女共同参画センター等職員や行政職員、NPOスタッフ等で、はじめて男女共同参画事業を担当する方および改めて学び直したい方を対象に、男女共同参画の視点をもって事業を推進していくための基礎知識と実践力を身につける研修を、2020年度はオンラインで実施しました。新型コロナウイルス感染拡大などの社会的危機状況において、センターはどのような役割を果たすべきか、また今後の具体的な施策についても考えました。

実施日：2020年10月19日(月)～28日(水) 事前学習

2020年10月30日(金) 講義・ワークショップ

2020年12月9日～31日 ゲスト講師講演のみオンライン配信(会員限定)

実施方法：オンライン開催

ゲスト講師：周燕飛(独)労働政策研究・研修機構(JILPT)主任研究員

「新型コロナウイルス感染拡大による女性への影響」

参加者数：21人

(3) 広報事業担当者のための課題解決・実践研修

情報事業や広報事業に携わるスタッフを対象に各センターの課題の洗い出し、具体策を検討する研修を、2020年度は広報事業を中心に実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大によって加速しているICTを用いた情報発信やコミュニケーションのあり方について、最新の情報を踏まえたうえで、男女共同参画センター等における事業への活かし方を学びました。

実施館：新潟県女性センター、福岡県男女共同参画センター「あすばる」

協力：世田谷区立男女共同参画センター「らぷらす」

実施日：2020年12月3日(木)

実施方法：オンライン開催

参加者数：21人

(4) 相談事業担当者・相談事業管理職向け研修

相談に関する各センターの課題を洗い出し、相談事業をマネジメントする視点から、対応の具体策を実践的に検討する研修を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、2020年度の開催は中止になりました。

(5) 減災と男女共同参画 研修推進センター共催「災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修」

地元で男女共同参画の視点を入れた災害（復興）・防災に関する研修講師として活動するための人材を育成する研修です。新型コロナウイルスの感染拡大を「災害」ととらえる視点で、減災と男女共同参画 研修推進センターによる企画と講義によりオンラインで開催しました。

実施館：浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター「あいホール」

実施日：2020年11月21日（土）～12月11日（金）事前学習

2020年12月11日（金）～12日（土）講義、ワークショップ

実施方法：オンライン開催

参加者数：32人

2. 情報事業

男女共同参画センター等の管理運営および事業の企画・実施に役立つ情報を収集し、ホームページ等を通じて提供しました。2020年度は特に、新型コロナウイルスの感染拡大への対応、国における第5次男女共同参画基本計画の策定等に関する情報を発信しました。また、大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システムに関する情報等も随時提供しました。

(1) ホームページの運用

男女共同参画センター等に関するデータ、文献等の情報のほか、会員館の職員募集情報などを提供しました。

(2) フェイスブックの運用

タイムリーに協議会および会員館の活動報告や情報発信を行いました。

(3) 会員館の現況調査等の掲載

2020年度「会員館の現況調査」の結果をホームページに会員限定で公開しました。ならびに、2019年度「男女共同参画センターの広報事業に関するアンケート調査」、2020年度「新型コロナウイルスの感染拡大による影響と対応についてのアンケート調査」結果についてホームページに掲載しました。

(4) 会員館メーリングリストの運用

会員相互の情報交換、意見交換を活発に行うために会員間メーリングリストのさらなる拡充を図り、活用しました。また、国における第5次男女共同参画基本計画の策定等に関する情報を発信しました。

(5) オンラインサロンの開催

コロナ禍で事業がすべてオンラインになったため、直接会って事業の悩みや工夫等の話ができない状況を鑑み、その都度テーマを設けて気軽に情報交換することを目的とした会員限定のオンラインサロンを、以下のように開催しました。

実施日・テーマ・参加人数：

第1回：2020年10月1日（木）「コロナでセンター事業はどうしてる？」23人

第2回：2020年11月13日（金）「相談事業について」14人

第3回：2021年1月22日（金）「コロナ禍におけるセンターのあり方について」20人

第4回：2021年3月11日（木）「図書の選書基準について話してみよう！」25人

実施方法：オンライン開催

3. 相談およびコンサルティング事業

会員館が直面する個別の課題解決に向けての相談、コンサルティングを実施しました。具体的には講師情報の提供や管理運営、事業企画・実施等について、会員からの個別の相談に応じました。

4. 全国大会事業

会員相互の情報交換・意見交換と研究協議を目的として、年に一度会員館との共催で全国大会を実施しています。2020年度は、第64回全国大会をくまもと県民交流館パレア男女共同参画センターと共催で、オンラインで実施しました。併せて、事業企画大賞の募集及び表彰を行いました。

実施館：くまもと県民交流館パレア男女共同参画センター

実施日：2020年11月25日（水）

基調講演のみ、11月26日～12月3日配信

実施方法：オンライン開催

申込人数：190人（会員館および個人会員48人含む）、基調講演330人

5. 連携（助成）事業

全国の男女共同参画センター等の中間支援組織として、民間企業や行政機関等からの資金等支援を得て、会員館と協働で事業を行っています。2020年度は日本テトラパック（株）助成「男女共同参画の視点にたった持続可能な社会づくりのための『家族で学ぶ災害時のエコクッキング事業』」および（公財）プラン・インターナショナル・ジャパン「夏休み読書感想文コンクール2020」への協力を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大の影響から中止となりました。次年度以降に向けて、こうした事業を継続的に実施していくために、民間企業や行政機関等との連携・協働に積極的に取り組みました。

6. 調査研究事業

(1) 「会員館の現況」調査の実施

会員館の現況を調査し、調査結果をホームページ上で情報提供し、活用をはかりました。

調査実施期間：2020年10月10日～11月1日

回収状況：会員館91施設中、91施設回答。回収率100%

(2) 男女共同参画センター／女性センターに関するアンケート調査の実施

男女共同参画センター等が直面する課題を把握するために、2020年度は「新型コロナウイルスの感染拡大による影響と対応について」をテーマにインターネットを活用したアンケート調査を実施（一部郵送で実施）し、調査結果をホームページ上に公開するとともに、協議会主催の研修や全国大会で報告、情報提供をしました。

調査実施期間：2020年8月12日～9月4日

回収状況：会員館91施設中、91施設回答。回収率100%

7. 人材情報ネットワーク事業

ホームページや会員間メーリングリスト等を活用し、2020年度は会員館の要望に応じて4団体の男女共同参画センター等のスタッフの募集・採用情報を掲載しました。

8. 防災・復興関連事業

(1) 大規模災害時における男女共同参画センター相互支援システムへのアクセス促進と運用

大規模災害時における男女共同参画センターの相互支援を目的として、クラウドサービス kintone を利用しネットワークを構築してきました。2020年度はこれまでアクセスしていない会員館に個別に連絡してシステムへのアクセスを促すと同時に、災害時にすぐに運用できるよう通常からのアクセスを促す利用方法を検討しました。運用状況としては、新型コロナウイルスの感染拡大を「災害」ととらえる視点から、各センターの対応等について情報交換ができるようスレッドを立ち上げました。また、2021年2月13日に発生した福島県沖地震の際にもスレッドを立ち上げ、情報交換および相互支援を目的としたシステム利用を促しました。

(2) 減災と男女共同参画 研修推進センター共催「災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修」（再掲）

地元で男女共同参画の視点を入れた災害（復興）・防災に関する研修講師として活動するための人材を育成する研修です。新型コロナウイルスの感染拡大を「災害」ととらえる視点で、減災と男女共同参画 研修推進センターによる企画と講義によりオンラインで実施しました。

実施館：浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター「あいホール」

実施日：2020年11月21日（土）～12月11日（金）事前学習

2020年12月11日（金）～12日（土）講義、ワークショップ

実施方法：オンライン開催

参加者数：32人

(3) 災害支援金を原資とする防災・復興における男女共同参画事業について

次の災害に際して男女共同参画の視点をいかしていくために、これまでに会員館からいただいた災害支援金を原資とした防災・復興における男女共同参画事業を公募で採択された下記の6館で実施しました。

実施館・実施日・開催方法・参加者数：

くまもと県民交流館パレオ男女共同参画センター、

2020年8月29日(土)、オンライン開催、17人

宮崎県男女共同参画センター

2021年1月16日(土)、オンライン開催、

1月22日～2月4日録画配信、1月26日・30日会場にて録画配信、延59人

静岡市女性会館「アイセル21」

2021年1月16日(土)、リアル開催、31人

吹田市立男女共同参画センター「デュオ」

2021年1月23日(土)、オンライン開催、21人

松戸市女性センター「ゆうまつど」

2021年3月9日(火)リアル開催、3月15日～29日録画配信、延32人

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

2021年3月21日(日)、リアル開催、29人

(4) 「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」シンポジウムの開催(再掲)

実施日：2020年9月10日(木)

実施方法：オンライン開催

後援：内閣府男女共同参画局

参加人数：102人

9. 会員拡大促進事業

全国女性会館協議会が全国の女性関連施設を結ぶネットワーク組織、中間支援組織として活動を続けてきました。協議会加入館を拡大することは、地域における男女共同参画の推進に寄与すると共に、社会的影響力を強化する上でも重要です。また、ネットワーク空白地域を少なくすることで、近年多発する災害での女性支援についてもより効果的な対応が図られると考えます。加えて、会員拡大は、協議会の安定した組織運営にもつながることから、下記のプロジェクトに取り組みました。

(1) 会員館50館を増やすプロジェクト(プロジェクト50)

未加入の都道府県立センター、政令市立センター、中核市立センターを中心に会員拡大につとめました。その結果、豊橋市男女共同参画センター、愛媛県男女共同参画センター、長崎県男女共同参画センターの3館が加入しました。2021年3月31日現在の会員館は91館です。また会員拡大の広報ツールとしてパンフレットを2020年4月に更新しました。

10. 運営関係

(1) 2020年度通常総会の開催

実施日：2020年5月22日(金) 14時～15時

実施場所：パシオン TOKYO

(2) 2020年度理事会の開催

第1回理事会：2020年4月29日～5月1日 電子媒体による持ち回り

第2回理事会：2020年5月25日～5月31日 電子媒体による持ち回り

第3回理事会：2020年11月25日(水) オンラインにて実施

(3) 役員懇談会の開催

コロナウイルス感染拡大の影響から、2020年度の開催は中止しました。

(4) 常任理事会の開催

定例常任理事会を毎月1回、Web会議システム「Zoom ミーティング」にて開催しました。

第1回常任理事会 2020年4月17日(金)

第2回常任理事会 2020年5月13日(水)

第3回常任理事会 2020年6月18日(木)

第4回常任理事会 2020年7月22日(水)

第5回常任理事会 2020年8月18日(火)

第6回常任理事会 2020年9月25日(金)

第7回常任理事会 2020年10月28日(水)

第8回常任理事会 2020年11月20日(金)

第9回常任理事会 2020年12月21日(月)

第10回常任理事会 2021年1月23日(土)

第11回常任理事会 2021年2月19日(金)

第12回常任理事会 2021年3月24日(水)

(5) 事務メールの運用

事務連絡の効率化、経済化をすすめるため、事務メールを活用しました。

11. 会員の動向

団体会員が1施設、個人会員3人退会。団体会員が3施設、個人会員が4人加入。

2021年3月31日現在で、団体会員91施設、個人会員37人、賛助会員1人です。